

必見！ 3 常任委員会の調査研究レポート

令和3年9月から議会体制が改まり、新たなメンバー構成で各常任委員会の活動がスタートしました。所管する事務事業からテーマを設け、町が抱える諸課題の解決につながる方策を見出すため、調査・研究をしています。

総務常任委員会 中間報告

テーマ デジタル社会に対応した住民サービスの向上と議会及び行政の在り方について

新型コロナウイルスのまん延は、私たちの生活を一変するとともに、今テーマにあるデジタル社会の到来を加速させ、皮肉にもDX推進の原動力となっている。否が応でも、各種のデジタル化に、行政も我々議会もしっかりと向き合っていかなければならない。高齢化の割合が40%を超える当町にとって、デジタル化に対する住民の需要がどの程度あるかは未知数だが、国が示すデジタル社会のビジョンにあるとおり、「誰一人取り残さない、人に優しいデジタル化」を目指し、その実現に向けた取組の推進を期待するものである。

キーワードは… **誰一人取り残さない、人に優しいデジタル化**

全部見せます！

我ら「サンジョウユニオンカイシャ」



コロナ禍で身近になったウェブ会議

経済建設常任委員会

テーマ 町の活性化に資する「道の駅」整備について

人を呼び、産業を振興させ、町の活性化につなげるためには「道の駅」整備に何を求めるのかを明確にし、この構想に定める能力と実績のある運営会社の選定が必要である。同時に企業の稼ぐ力等のノウハウとポテンシャルを最大限に引き出す環境と関係の構築が必要で、国等からの支援が充実される機会を逸することのないよう常時心がけ、稼ぐ力を生み出す拠点として整備するための議論と合意形成を、慎重かつ早急に深めていくべきである。

キーワードは… **運営会社との共存と連携**



人気メニューの開発を期待

厚生文教常任委員会

テーマ これからの給食センターの役割と在り方について

平成25年の学校給食センター在り方に関する検討委員会、平成31年2月厚生文教常任委員会県外視察研修会後、報告と提案がされた。町財政が厳しい状況下、老朽化が著しい建設当時の作業場・調理設備を改修し、不効率な作業を余儀なくされているが、町の将来を担う子供たちへの「安全で安心な給食の提供」が最優先されるべきで、国の交付金、県の負担金を利活用し、新施設建設の為に最善の策を導き出すことが急務である。

キーワードは… **「安全で安心な給食の提供」を最優先**



検討が始まる給食センター

電気事業者による「再生可能エネルギー電気」の調達に係る買い取り価格・期間等について特別の措置を定めた法律。再生可能エネルギー電気の利用促進を図り、産業振興や地域活性化、経済の発展に寄与することを目的としている。

太陽光発電設備の適正な設置・管理に関する条例 乱開発の防止を

Q 悪質な事業者に対する罰則や処分等の規定が明文化されていないが対策等は。

A 今条例では、事業者が関係法令に違反した際、FIT法を所管する経済産業省に通報することとしています。条例で罰則を設けずとも、上位法との連携により、国で事業認定の取り消しや、事業者への処分を科すことが可能です。

Q 設備の維持管理及び撤去に要する費用の確保が義務付けられているが、狙い等は。

A 国からの報告として、現状、廃棄等に係る費用の積み立てを行っている事業者は2割以下とのこと。そのような状況下、事業者の責務として、しっかりと積み立ての義務を果たしてもらうため、明文化しました。

公開します 賛否が分かれた議案

議決結果はホームページでも見られます→



議員ごとの賛否内訳と審議結果

○…賛成 ×…反対 欠…欠席
一印…議長は賛否同数の場合のみ採決に参加します

他20議案は全員賛成で原案どおり「可決・同意・承認」しました

議案名	議員名	笠原英彦	高橋功人	笹本孝幸	五十嵐康博	大戸久一	高橋さゆり	本多重信	高瀬勉	井口亮一	笠原規弘	島崎隆夫	田中照子	根岸成美	山口勝士	審議結果	
当令初予4算年度	一般会計	93億7,800万円	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	-	可決
	国民健康保険特別会計（事業勘定）	35億2,342万円	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	-	可決
	後期高齢者医療特別会計	4億5,428万円	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	-	可決
	水道事業会計	9億7,329万円	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	-	可決
人事	副町長の選任について（藤井大司氏）		○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	-	同意

一部事務組合議会から報告

一部の行政サービスを複数の市町村が共同で行うための団体が一部事務組合です。構成市町村の議会から議員を選出しています。

欠員は生じていますが、当面はOB会組織が支援してくれるので、無理に定数合わせをする必要はないと思います。
小川消防団長 小山立司さん（腰越1）



OB会

ごみ処理・し尿処理

小川地区衛生組合議会（令和4年2月21日）

可燃ごみ処理が民間委託に

令和4年度一般会計の当初予算は15億6900万円（小川町の負担額は4億6300万円）。いよいよ始まった「可燃ごみ処理の民間委託」に係る費用の増大が課題です。これまで以上にごみの分別を徹底し、食品ロスの削減や生ごみ等の資源化など、ごみの減量化がコスト削減につながります。



委託先となる乾式メタン発酵施設の視察風景

消防・救急・斎場の管理運営・介護・障害審査会・公平委員会

比企広域市町村圏組合議会（令和4年2月8日）

消防団員の確保が課題に

令和4年度一般会計及び各特別会計の予算総額は、35億7900万円（小川町の負担額は、4億9550万円）。小川消防団では慢性的に団員の確保が課題です。活動内容を限定して対応する機能別消防団員の導入について検討すべき時に来ています。



操法訓練は団員のチームワークの良さを実感します

次のページは白熱の一般質問です！